

★競技運営に関する申し合わせ事項（一般の部）★

県大会は、今年度野球規則及び競技者必携による他、下記の申し合わせ事項により行う。

1. 監督会議での説明または申し合わせ事項は、チーム全員に徹底させること。
2. ダッグアウトは、組合せ表の若い番号を1塁側とする。
(ただし、ダブルヘッダーの場合、時間の都合で変更することもありうる。)
3. 競技に参加する各チームは、試合開始時刻60分前に球場に参集し、試合開始30分前までに、監督または主将が打順表を本部に提出すること。(必ずユニフォーム着用)
◎第2試合以降のチームは、前の試合4回終了時にメンバー表4部を提出のこと。
◎打順表には、登録されている者全員を記入(フルネーム・フリガナ)すること。
※大勢が整っている時は、試合開始予定時刻前でも試合を開始する。
4. (1) 一般Aクラスの試合について
○試合は9回戦とする。延長戦は、準決勝戦までは、10回表から特別延長戦を行う。
○決勝戦は延長戦を3回実施し、決しない場合は13回表から特別延長戦を行う。
○特別延長戦は無死満塁、打者継続、勝敗の決するまで行う。
○コールドゲームは、5回以降7点差とする。優勝戦は7回以降7点差とする。
○降雨、日没などで試合を変更する場合は、球場責任者の判断により両チームの監督に伝達する。
(2) 他のクラスの試合について
○試合は7回戦とする。延長戦は、準決勝戦までは、8回表から特別延長戦を行う。
○決勝戦は延長戦を2回実施し、決しない場合は10回表から特別延長戦を行う。
○特別延長戦、コールドゲームなどについては、上記の一般Aクラスに準ずる。
○九州成年大会、日本スポーツマスターズ大会は指名打者制を採用する。
5. 試合中は次の行為を禁止する。
 - (1) ベンチ内でのガム、喫煙。喫煙のために試合中にベンチ外に出ることは禁止する。
 - (2) ベンチからの好ましくない野次。
 - (3) プレーヤー、審判員に対する個人攻撃。(目にあまる行為は厳重に処分する。)
 - (4) ベンチ内での携帯電話及び携帯マイクの使用を禁ずる。メガホンは1個に限る。
6. 試合はホームプレートを含んで挨拶のときに、正規のユニフォームを着用した10名以上の選手がいなければならない。
7. 抗議権を有する者は、監督、主将、当該プレーヤーのうち1名とする。
8. ランナーズコーチも必ずヘルメットを着用すること。
9. 次打者席では投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。投手も必ず次打者席に入ること。
10. 試合をスピーディーに行うため、攻守交代は駆け足で行うこと。投手の投球練習は1回目と投手交代時は、7球(1分以内)2回以降は4球以内とする。
11. 攻守交代の最後のボール保持者は、マウンドにボールを置いてベンチに戻ることに。
12. 試合中、選手がスパイクの紐を結び直すため等のタイムは認めない。打者が二塁打を打ち、打者用手袋から走塁用手袋に変える為にタイムをかける行為を禁止する。
13. ファウルボールは一塁側、三塁側へ飛んだ方向のベンチ側が処理し、中間は攻撃側チームが処理する。主審へのボール渡しも適時攻撃チームが行うこと。
14. 試合中、内野手の転送球は一廻り以内とし、定位置付近で行うこと。
(試合状況により制限することもある。)
15. アンフェアな行為、スポーツマンシップに則しない行為は慎むこと。
(インターフェア、オブストラクションを厳しく適用する。)
16. 試合中はみだりにベンチから出ないこととする。キャッチボールは2組迄とする。
17. 球場内では、練習中でもユニフォーム(統一したもの)を着用すること。
スパイクの色は自由とし、全員同色でなくても構わない。
18. サングラスは大会本部の承認なしに使用できるが、帽子の上に乗せることは禁ずる。
19. 捕手は安全のためファウルカップを着用すること。
なお、投球練習時の捕手は、必ずマスクを着用することとする。
20. 試合終了後のグラウンド整備は必ず両チームで行うこと。ベンチの清掃も行うこと。

＜学童の部・大分県大会注意事項について＞

1. 開会式がある大会は開始時間の45分前迄には集合し、受付を済ませてください。
※選手の移動については時間にゆとりを持ち、安全運転に十分留意して下さい。
大会出場記念として各チームの集合写真を写真会社が撮影します。後日、チームの代表者にパネル等の見本品をお送りますので、代表者の方は連絡先等を写真会社に知らせてください。(個人情報厳守いたします。)
2. 開会式の入場行進については、同一ユニフォームを着用した選手で背番号が「0番～99番」の選手のみ入場行進を認めます。(総勢30名迄とするがベンチ入りは20名)行進は背の高い順に2列行進で行います。選手はスパイクを着用のこと。
入場行進は開会式での重要なセレモニーです。行進の練習をお願いします。
開会式にはチーム名のプラカード、代表旗(優勝旗)、団旗を持参してください。
3. 開会式時には監督・コーチはグラウンドに整列をして選手への激励をお願いします。
4. 組合せ表の試合開始時間は目安であり、天候等の状況により開始時間を早めることもあるので、開始予定の1時間前には集合してください。球場の開門は1時間前とする。
(雨天時の問合せは各チーム代表者1名のみが問合せを行ってください。県連からは各チームの代表者に連絡はしないので、自チームで勝手な判断をしないでください。)
※雨天の場合でも試合開始時間を遅らせて日程を消化することもあります。
5. 各球場ともに十分な練習会場がありませんので、ご理解ください。
6. 当日、登録監督が不在の場合はコーチの代理を認めるので、試合前に届け出ること。
7. ベンチ入り出来る大人は、監督1名、コーチ2名、チーム代表者1名、引率責任者1名、スコアラー1名の合計6名迄とする。(男女は問わない) ベンチ入りする大人はスポーツ行事にふさわしい格好であること。ユニフォームの着用は監督1名とコーチ2名の合計3名のみで、以外の大人はユニフォームを着用してベンチ内に入ることはできません。試合開始前の練習時に保護者がグラウンド内に入り練習を補助することはできません。試合終了後は、両チームの選手でグラウンド整備を行ってください。
8. 九州・全国大会に出場したチームは、主将等に感想文を提出させてください。
9. 90分制の試合については、各会場の責任者(県連役員)が主審を通じて両チームの監督に事前にお知らせしますので、各自で勝手に判断をしないこと。
(基本的には7回制を優先しますが学童の場合、試合時間が長引くことがありますので、そのイニングの先攻のチームが攻撃する前に両チームの監督にお知らせしますが、試合展開(先攻チームの攻撃時間が著しく長引く場合等)によっては、後攻チームの攻撃の前にお知らせすることもあります。)
10. 2試合目以降のオーダー交換は前の試合の4回終了時に監督と主将がユニフォームを着用のうえ本部に来て行う。当日、監督不在の場合は必ず事前に代理を申し出ること。
11. 聞き苦しい保護者の「ヤジ」はチームの責任として対処します。
チームの応援は自チームが攻撃の時を基本とし相手が攻撃の時は控えることとする。
※投手が投球動作に入ったら、応援はやめること。(全国スポーツ少年団競技規則)
12. 選手の守備・打者用手袋の着用については規制をしないこととする。
(ただし、色は黒か白の1色とする。技術育成の等、指導者には配慮をお願いします。)
13. 捕手は安全のため、ファウルカップを着用すること。なお、投球練習時の捕手は必ずキャッチャーマスクを着用すること。(控え捕手も同様)
14. ベンチ入りする監督・コーチのユニフォームのズボンについては、ロングパンツは禁止する。
15. 投手の投球制限については、肘、肩の障害防止を考慮し1人1日7イニングまでとする。但し、特別延長戦に限り2イニングは認める。
なお、学童部三年生以下にあっては5イニングまでとする。投球イニングに端数が生じたときの取り扱いについては、三分の一回(アウト一つ)未満の場合であっても1イニング投球したものとして数える。
ダブルヘッダーの場合、必ず投手の報告を行うものとし、違反した場合処分を行う。
16. 小学校低学年(3年生以下)の選手を大会に出場させる場合は、必ず保護者の同意書の提出を必要とする。(開会式当日に受付時に同意書を提出すること。)
17. 試合当日は、両チームでボールボーイの配置と審判員へのお茶出しをお願いします。